

2 市民の皆さんの意識

男女共同参画に関する現状を把握するため、平成26年度にアンケート調査を実施しました。男女がともに個性と能力を発揮し、いきいきと暮らすことができる社会の実現に向けて、何が求められているのでしょうか。

理想と現実の生活実態の差が浮き彫りに

「家庭生活や職場、自治会などの地域社会、政治の場での男女の地位」は、平等と回答した人よりも、男性が優遇されていると回答した人の割合が高くなっています。

また、「家庭生活での役割分担」では、「食事のしたく」、「育児」、「高齢者や病人の介護」で主に妻と回答した割合が高い一方で、「女性が職業をもつことについて」では、子どもができて

ずっと続ける方がよいと答えた人の割合が最も高い結果となりました。

「生活実態」は、男性は仕事優先、女性は家庭生活を優先している人の割合が高い一方で、「理想の生活実態」は、男女ともに仕事・家庭生活・地域活動と個人の生活の全てを、ともに優先したい人の割合が高くなっています。

「男女がともに家事・子育て・介護に参加するため必要なこと」は、夫婦や家族間のコミュニケーションを深める、家事などへの男性自身の抵抗感をなくすこととの割合が高い結果になりました。「女性が働き続けるために特に必要と思われること」は、男女がともに育児・介護休業を取得しやすい職場環境とともに、働く女性への家族や周囲の理解・協力と回答した人の割合が高くなっています。

これらことから、どちらか一方に負担が掛かることのない、バランスの取れたライフスタイルへの転換が求められています。

男女がともに支え合うための大切な取り組み

男女がともに支え合う社会をつくるためには、①男性の働き方を変える(見直す)、②男性の負担を軽くする(仕事の共有化)、③「男らしさ」からの解放(個々の特性を尊重する)が必要です。

オーバークワークをしても良い仕事はできません。長時間労働(時間外労働)を前提とした業務計画を見直し、限られた時間の中で効率よく仕事をするよう一人一人が意識を強く持つことが大切です。

また、体力的に優れた男性に負担を偏らせず、女性や障がい者など、多様な人材にも仕事を分散させることで、男性の負担を軽減させる必要があります。

男性の仕事量が減ることなどで定時退社が可能になり、家族団らんの時間が増えたり、子どもの行事などに父親が参加したりする機会が増え、家族の絆も深まります。男性の残業を減らし、



人権・男女共同参画課 狐塚明子 副主幹

規則正しい生活を取り戻すことで健康の回復も期待できます。

また、現在の学校教育は、ジェンダーフリー(個々の特性を認めた)の教育方針が中心です。個々の特性を生かし成長してきた「個人」が、社会人として働きはじめる時、大きなジェンダーバイアス(性別の違いによる偏見)の壁にぶつかることがあります。それによって、働く意欲を失うことは労働力人口の減少につながる心配があります。

「男らしさ」「女らしさ」の概念を払拭し、新しい「自分らしさ」を認めチームを作り上げ、業務に取り組むことが大切です。女性が働きやすい職場環境は、男性にとっても働きやすい職場環境です。

調査概要

調査対象は、平成26年11月現在、市内に居住する20歳以上の方です。回答した人数は、858人(2,000人に配布し有効回答となった数)です。

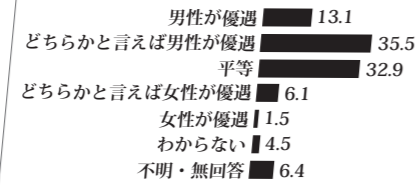
調査期間は平成26年11月10日～11月21日です。※小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

回答した人の内訳(858人)

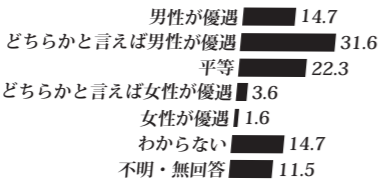
- ▼年代
 - 20代 48人(5.6%)
 - 30代 68人(7.9%)
 - 40代 94人(11.0%)
 - 50代 164人(19.1%)
 - 60代 238人(27.7%)
 - 70代以上 226人(26.3%)
 - 不明・無回答 20人(2.3%)
- ▼性別
 - 男性 359人(41.8%)
 - 女性 481人(56.1%)
 - 不明・無回答 18人(2.1%)
- ▼結婚
 - 未婚 135人(15.7%)
 - 既婚 695人(81.0%)
 - 不明・無回答 28人(3.3%)

日光市男女共同参画に関するアンケート結果

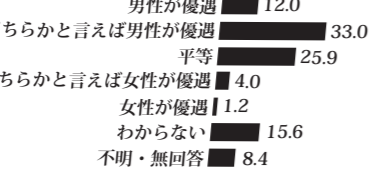
1. 家庭生活での地位は平等ですか(単位%)



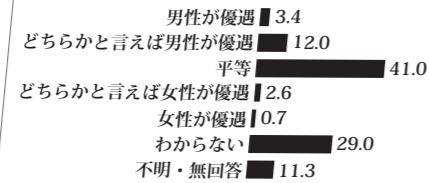
2. 職場での地位は平等ですか(単位%)



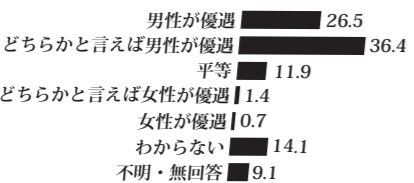
3. 自治会など地域社会での地位は平等ですか(単位%)



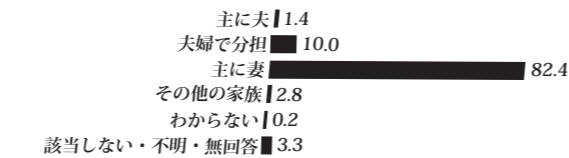
4. 学校教育の場での地位は平等ですか(単位%)



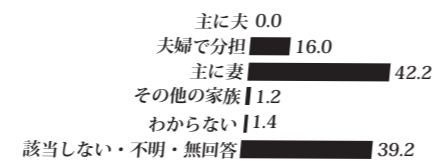
5. 政治の場での地位は平等ですか(単位%)



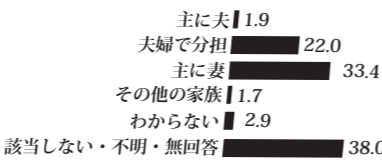
6. 家庭生活での役割分担(食事のしたく)(単位%)



7. 家庭生活での役割分担(育児)(単位%)

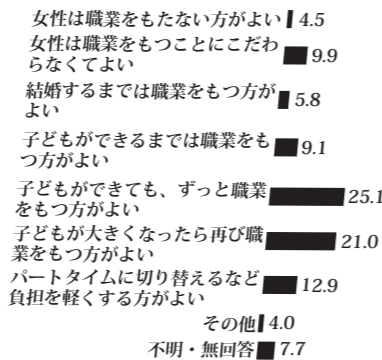


8. 家庭生活での役割分担(高齢者や病人の介護)(単位%)

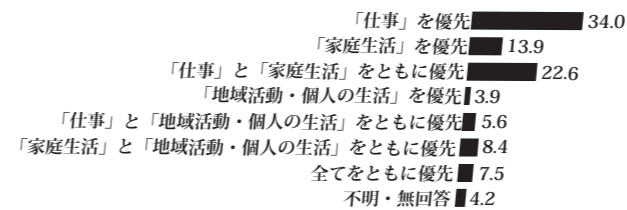


家庭や職場、地域社会などでは男性が優遇。育児や高齢者の世話は主に妻。

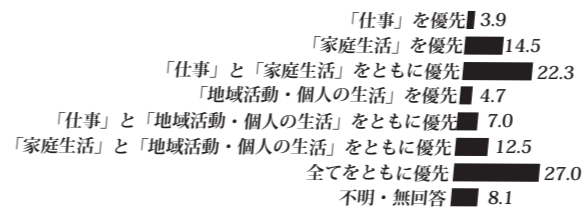
9. 一般的に女性が職業をもつことについて(単位%)



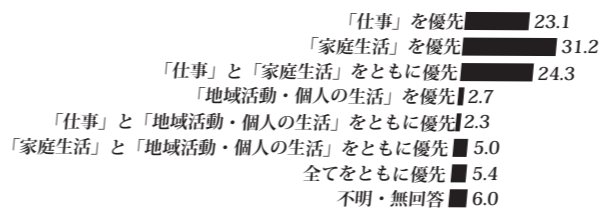
10. (男性) あなたの生活実態はどれですか(単位%)



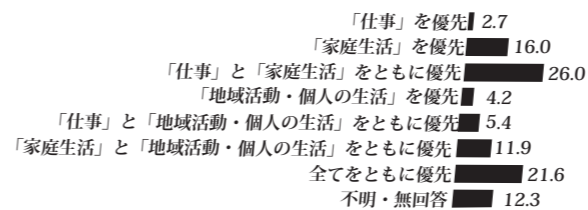
11. (男性) あなたの理想の生活実態はどれですか(単位%)



12. (女性) あなたの生活実態はどれですか(単位%)

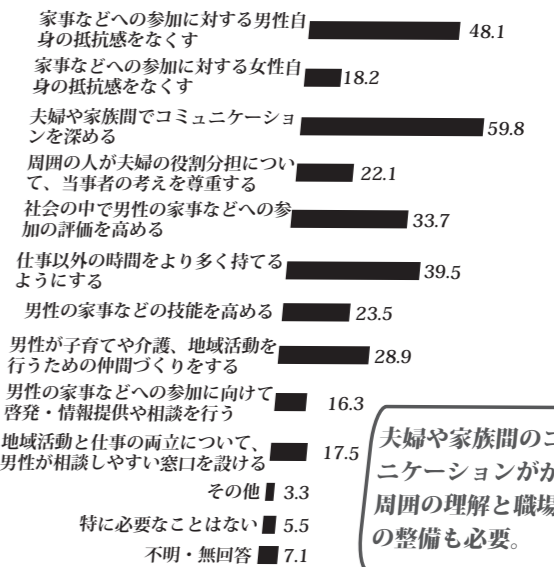


13. (女性) あなたの理想の生活実態はどれですか(単位%)



男性も女性も仕事・家庭・地域活動や個人の生活のバランスをとりたい!

14. 男女がともに家事・子育て・介護に参加していくために必要なことは(単位% 該当するものを全て選択)



夫婦や家族間のコミュニケーションがかぎ。周囲の理解と職場環境の整備も必要。

15. 女性が働き続けるために、特に必要と思われること(単位% 該当するものを全て選択)

